

花 曆 皐 月

初夏の園内、日陰の足元によく見られるのがドクダミ。民間薬として「十葉」といわれる程よく用いられてきました。実際、抗菌作用（デカルボニルアルデヒド）や利尿作用（ケルトリソ）等、科学的にも解明されています。

花が咲くこの頃、野山へ出かけるとたくさん採取している人を見かけます。薬効成分に由来する独特のにおいは乾燥すると薄くなり、根まで含めて全草をよく洗い、カビがつかないように干し上げ、夏の麦茶代わりに飲まれてきました。

四枚の白い花びらと見えるのは、じつは葉の変化したもので、中心の黄色の穂が花の集まり。といっても雄しべ（3）と雌しべ（1）だけの集合体という個性派です。

湿った土地に生え、香りや生命力の強さから嫌われるドクダミ。

でもその静かな白い花を好む私が、一生忘れられない印象的な和服を見た事があります。淡い地色にたおやかな花々が描かれ愛される加賀友禅。

しかしその作品は加賀友禅作家の手になるものながら、全体は紫鷲（暗い灰赤紫）色。裾に数珠・花をつけたドクダミが描かれています。

有無をいわせぬこの迫力。

凡人には発想できぬ意匠のこの和服は、どんな女性が、、、、帯等の取り合わせは、、、、。

様々に私を楽しませてくれるドクダミも、昨今ではコンクリートで固められてゆく環境との戦いの日々ようです。

文：花咲くおばさん

森のなかま・キリン

キリンのお見合い（準備編）

キリンのマリアは今年7月で5才をむかえます。キリンにとってはお年頃。

ここ到津での環境にもようやく慣れたようなので、このたび雄のマサカズとのお見合いを試みることにになりました。現在準備のためにサバンナゾーンに木柵ができていた為、少し動物達が見えにくい等のご迷惑をおかけしております。

雄のマサカズ：19才と雌のマリア：4才は生活歴3年ですが、やむ終えず別々の展示を行なってきました。最近ではお互いに、フェンス越しではありますが相性良好？といった雰囲気を見せています。高齢のマサカズにとって最後のチャンスになるかもしれませんし、年齢的に難しいかもしれませんが上手くいけば皆さん待望の元気なキリンの赤ちゃんが見られるかも……。

少なくとも本来、群れで生活するキリンの自然な姿をお見せできますよう、安全かつ順調に進めばいいなあと思うばかりです。



そしてマサカズが少しでも長生きしてくれますように……。
皆さんも長～い目でマサカズ&マリアを見守ってほしいと思います。

飼育展示係 岩城 陽子